

新型コロナウイルス感染症に対応した 学校運営の在り方に関する連絡会議

皆さん、こんにちは。県教育委員会の齊木邦彦です。どうぞよろしくお願いたします。市町村教育委員会の皆様方におかれましては、日頃より子どもたちの教育、そして広く社会教育全般にご尽力されており、心から敬意を表します。本日の連絡会議ですが、急なご案内にもかかわらずご出席いただき、ありがとうございます。

さて新型コロナウイルス感染の拡大防止のため学校の臨時休業が続いています。各教育委員会のご指導の下、小学校・中学校においては、先生方が子どもたちの家庭での学習や健康面の指導、また万全の感染防止対策をとりながらの登校日の設定など、あらゆる手立てを講じ、奮闘されています。たいへん心強く思っています。

学校再開後も平常の学校生活を取り戻すのは容易ではありません。本日は、学校再開後の教育課程の編成について、また児童生徒の心のケア、保健管理、学校給食等について、市町村教育委員会の皆さんと意見を交換すべく、連絡会議を開催させていただきました。情報交換の場として有意義なものとなることを願っています。

学びの保障ということについては、学習活動を重点化しつつ家庭学習との連動をこれまで以上に強化することや、場合によっては内容の一部を次年度に先送りするなど教育課程を柔軟に編成し直すことも考えられます。しかし最終学年である小六・中三の子どもたちの学びにおいては先送りできる時間的余裕がありません。

文部科学省は一昨日付けの通知で、高校入試について志願者が安心して受検に臨めるよう、調査書の扱い、学力検査の出題範囲や内容、出題方法について必要に応じて適切な工夫を講じるよう求めています。県教育委員会としましては具体的にどのような配慮が可能か検討を進め、後日可能な限り早めに示したいと考えています。

学校生活は予め計画して行われる活動ばかりではありません。学校生活の中で自然に過ぎていく時間もとても大切です。子どもたちにとっては先生や友だちと一緒に過ごすこと自体がかけがえのない経験なのだと思います。意図して行われる教育活動だけでなく、何気ない時間の積み重ねの中でいつの間にか子どもたちは成長している、それも学校というところの大事な一面だと思います。

今日は5月15日です。毎年今日、私は生徒に話しかけます。「今日は五・一五事件が起こった日ですね」「先生、それはどんな事件ですか?」「5月15日に起こった大変重大な事件です」「そうなんですか、先生」と話を合わせ、そこで質問を打ち切ってくれる優しい生徒たち。こんな、本当に他愛ないやりとりも一場面として含む学校生活が早く戻ってほしいと思います。

全ての市町村と山梨県、全ての学校の児童生徒が同じ山梨県の子どもたちです。日々刻々と変化する状況の中ですが、各市町村教育委員会と県教育委員会とで連携しながら対応していくことがこの難局を乗り越える唯一の道だと思います。本日は、そしてこれからもよろしくお願いたします。ありがとうございました。